

令和5年度 第4回富田林市指定管理者選定委員会 会議録要旨

◆日 時:令和5年10月10日(火) (13:30~17:30)

◆場 所:富田林市役所 3階 庁議室

◆委 員:別紙のとおり

事務局(行政管理課)… 山田、北村、上久保、山内

各施設担当課(増進型地域福祉課)

発言者	概 要
委員長	<p><b>1. 事務局より当委員会についての説明</b></p> <p>◆今回の委員会の目的 「総合福祉会館」「コミュニティセンター」「ケアセンター」の3施設について、指定管理者候補の審査及び採決</p> <p>◆開催要件 委員総数の半数以上の出席があり、委員会設置要綱に規定された開催要件を満たしている。</p> <p>◆採点方法等 公募の指定管理施設の審査における点数の基準については、採点表の審査項目ごとに審査の視点を定めており、配点の6割を基準点として採点いただくようお願いしたい。</p> <p style="text-align: center;">これより議事進行が委員長に移る</p> <p><b>2. 指定管理者候補(公募)の審査</b></p> <p>「総合福祉会館」について、応募のあった申請団体より、提案内容における利用促進利用者満足度向上並びに運営管理体制の内容を中心にプレゼンテーションをお願いし、その後に質疑応答する形で進めます。</p> <p style="text-align: center;">&gt; 申請団体A(富田林市社会福祉協議会)入場&lt;</p> <p style="text-align: center;">プレゼン・質疑応答</p>
委員長	<p>それでは委員の皆様からご質問ございましたらお出しただければと思います。</p>
委員	<p>収支計算の修繕費についてですが、令和6年度から10年度にかけての修繕費の予算が平成30年度から令和4年度に比べてかなり少なくなっています。施設がだんだん古くなっていくのにこの修繕費で問題ないかという心配が一つ。二つ目ですが、予算編成にあたり、収入総計と支出総計を一致させるという原則で作成していると思いますが、収入と支出を一致させるが為に、修繕費のところで金額調整しているように見受けられます。予算の組み方の一つとして、修繕費に関しては通常かかる見込みの額を入れたまま、収支を一致させるために予備費という勘定科目で調整するやりかたがあります。おそらく雑支出の項目がそれに当たるかもしれませんが、この予算の組み方についてもなかなか運営が厳しいので</p>

A	<p>はないかと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>➡1番目の質問について、ご指摘の通り収入支出を合わせるような形で予算の組み立てをしておりますので、見積をとった上での修繕費の計上ではございません。建設されてから42年、リニューアルされてからでも19年が経過しており、様々なところで修繕費がかさんでおります。なかなか対応できるかと言われると厳しいのが現状でございます。また今回、光熱費の上昇や物価高騰で、他でもランニングコストが上がっているのが現状です。一方で、指定管理料も第四期と比べて設定額が上がっておりますので、他のところで予算が到達しないようなところで、流用して修繕費の方に利用できたらと考えております。</p>
委員長	<p>⇒先ほどの指摘は収支計画の組み方が違うのではという指摘だと思います。修繕費で帳尻を合わせるのではなく、修繕費は一定の額を確保し、全体の収支は予備費等で取るのが通常です。修繕費でその帳尻を合わせるという考え方が間違っており、修繕計画の考え方や収支計画全体の考え方が違うのではないかと指摘なので、今後、計画作成時はその辺りの原則を見直す必要があると考えますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>収支計画のうち人件費についてですが、令和6年度から令和10年にかけて一定増加の方向ですが、年度ごとに上がったたり下がったりがあるようです。その算出方法とは逆に、委託料は5年間同じ算定ですが、考え方を教えていただけますか。</p>
A	<p>➡まず人件費については、正規職員の定昇分は計上しております。ただ、令和7年度から8年度にかけて見込み額が上がっておりますが、これは正規の職員で10年から11年目を迎えると、退職積立基金の利率が通常の年度より多くなりますので、その分が多くなっており、翌年度は率が下がっているため減少します。また、委託料に関しては1年契約のものもございしますが、多くは5年契約という長期計画であるため、一定の額とさせていただきます。</p>
委員	<p>利用者満足度の向上について利用者数の目標を設定していますが、貸館利用者数と浴場利用者数は募集要項と同数の目標値で、それを令和6～令和10年度まで横ばいの設定となっております。目標設定にあたっての考え方や具体的な数字があれば教えてください。</p>
A	<p>➡こちらの目標値は、市の要求する達成目標と同数としております。これは今までの実績より少し高く要求が設定されている数字でございますので、本会としましては、その目標値を継続して達成できるように同数の計画としております。また、利用者数の年度目標別の数値が横ばいということですが、各年度の達成度を評価しやすいよう、少し高い目標値で横ばいとさせていただきます。</p>
委員長	<p>質問は、数値を上げていくために一定の工夫が必要と考えるので、どのように考えているのかという趣旨ですが、その辺りはいかがでしょうか。</p>
A	<p>➡例えば、浴場では「お楽しみ湯」の企画や、牛乳瓶の自動販売機の設置など、利用者に1人でも来ていただくための企画をしており、貸館の利用者数については年間の登録クラブ制度というものがあ、年間の貸館利用の予約ができるシステムがあるので、その辺りを利用して企画しております。</p>
委員長	<p>先ほどのプレゼンでも社会が変化して地域福祉に求められていることも変わってくる、時代のニーズに即した次の展開と、という言葉や、次期は今まで以上にユニークな展開を考</p>

A	<p>えたいというような趣旨の発言がありましたので、もう少し具体的にどのような変化にどのように対応していくのか、補足で説明していただけますでしょうか。</p> <p>➡利用者の声を聞くという意味では年1回のアンケートの実施や、意見を集めるための目安箱を福祉会館に置いております。また、これまで高齢者の利用が多いということで、受動的にサービスを受ける高齢者のための運営方法に対し意見が多かったのですが、これからはいわゆるアクティブシニアという高齢者を発掘するため、先ほどのアンケートを実施したり、社会福祉協議会としてボランティア専用のホームページを運用しております。そういった事で人材を発掘したり、シニアクラブに向けて情報を発信して人材を確保したり、アクティブシニアの方の声を聞いてニーズを集めます。また、障害者の方々やひとり親家庭の方々の利用が少ないということもあり、そのような方々に社会参加してもらうということは、社会福祉協議会の機能として、福祉施設連絡会という様々な社会福祉法人、高齢分野や障害分野や児童分野の連絡会を担っており、そういう場で発信して、他分野の方々の情報収集をして事業の展開に繋がりたいと考えております。</p>
委員長	<p>まだ抽象的ですので、もっと具体的にアクティブシニアの方を活用するというのはどういうことでしょうか。</p>
A	<p>➡アクティブシニアを具体的に活用・協働するということでは、例えば、講座の講師としてその方々の得意分野に合わせた講座の講師として協力してもらうことや、花壇の整備や簡易な大作業とか知識を持ち得意としている方に協力を募り、花壇の整備であれば植物に精通した方のアドバイスのもと一緒に花壇を整備することや、壊れたものの修繕を協働で行うことを考えております。</p>
委員長	<p>ひとり親家庭の方々の利用が少ないということは、サービスを受けるタイプのシニアの方々が多いたが故に、ひとり親世帯が近づき難い雰囲気や状況作っている可能性はありますか。</p>
A	<p>➡ご指摘の通り、施設の特長としてマッサージ機や電位治療器の設置など、高齢者の方々が楽しめるような施設になっております。そのため、ひとり親家庭の子供や保護者が来て楽しむということは、日常運営の中では難しいと考えております。ひとり親家庭については定期的なイベント、例えば、親子クッキングや親子ヨガなど、平日はなかなか利用が難しいので土日や祝日にイベント等を実施して、ひとり親家庭の方々に利用促進ができればと考えています。</p>
委員長	<p>⇒今までの説明や答えでは、従来のイメージがかなりこびり付いているように感じます。すでに活動されている方々は、他の場所を利用している可能性は非常に高いし、先ほどのアクティブシニアも簡易な講座や、或いは庭のメンテナンス等ということですが、かなり限定されたイメージを踏襲しているように感じます。そこを払拭していかない限り、新しい方々には届かないと考えますのでご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>過去の委員会評価において、研修計画について全職員が受講できるような体制を整えてください、という指摘があったと思います。それは業務の専門性も踏まえながら、ニーズを踏まえて効率的に職員がスキルアップしてサービスを提供できる体制づくりが求められていたかと思いますが、先ほどの提案の中で、研修体制を整えている、研修を受けやすい環境づくり等を考えているというような発言がありましたが、具体的にはどういうことでしょうか。</p>
A	<p>➡研修を受けやすい環境づくりについては、基本的に年度で研修計画を策定し、その研修計画には、原則、誰でも受けるような形で調整しております。それ以外に、総合福祉会館の</p>

	<p>運営に役立つようなスキルという面で、職員がスキルアップを目指したい際は研修の提案ができる仕組みや意識付けを図っています。指摘をいただいたことに関しては、積極的に受講してもらえるようボトムアップの仕組みを採用しております。今後も、積極的に職員から意見を汲み取り、研修を受講しスキルアップを図ってもらうような仕組みを考えております。職員が単独で受講する形ではなく、研修を複数の職員が受けるという点では、オンラインでの研修や動画視聴という手段をとることが多いです。そういった研修を受講することで外部に出て行く時間も削減でき、たくさんの職員が受けられるよう取り組んでおります。</p>
委員	<p>基本方針等の行動規範についてですが、ざっと読ませていただいた限り、ハラスメント防止に対する考え方の記述等が見当たらないように思いますが、この辺りの取組について法人としての考え方があれば聞かせください。例えば具体的な記述はありませんが、要綱の作成や職員向けの研修をしている等がありますか。</p>
A	<p>➡研修計画に記載はありませんが、大阪府の社会福祉協議会の研修計画の中にハラスメントの研修があるため、基礎の研修については職員が受講できるようにしております。</p>
委員長	<p>組織内の相談システム、通報システムというのはどうなっていますか。貴団体はコンパクトな組織であり内部ハラスメントに対する仕組みはかなり慎重に整えていく必要があると推察します。</p>
A	<p>➡公益通報の規定の整備や、職員が規定や公益通報について学習をすること、体制としては職員がそれぞれの別の部署の上司に通報する形です。</p>
委員	<p>駐車場における現在の充足率について、不足の有無等を教えていただけますか。</p>
A	<p>➡何%という形では答え難いですが、常に満車であるという状況です。第2駐車場が近隣にあります。こちらも少し余力はあるものの、もう少し空きがあればいいと思います。</p>
委員	<p>ということは第二駐車場も使えば溢れるということはないということでしょうか。</p>
A	<p>➡はい。ただ、身体障害者用の駐車場が4、5台分ありますが、これは我々としては充足している認識ですが、利用者の方々からはもう少し欲しい、というお声はあります。</p>
委員長	<p>それではこれで質疑応答の方は終了をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">&gt; 申請団体A(富田林社会福祉協議会) 退場 &lt;</p>
委員長	<p>それでは担当課の方にご質問・ご意見等はございますか。</p>
委員	<p>コミュニティセンターと同じ指定管理者ですが、コミュニティセンターと総合福祉会館でそれぞれの活動を比較すると差があるように見受けられます。それはスタッフの質やレベルの問題もあると思いますが、同じ団体が担う以上、どちらも同等のレベルで回っていくべきと考えます。質疑応答の中で、従来型から抜け出せていないというか、組織として少し苦手な部分ではないかと思いますが、協働する中でどうお感じですか。</p>
担当課	<p>➡日頃から様々な業務で密接に連携を図っているところであり、ご指摘の通り、特にこの福祉会館については、施設そのものの対象者が限定されているということもあり、もう一步、新しいアイデアを期待したいと何度もお伝えしています。アクティブシニアへの様々な取組</p>

	<p>みや周知の方法も、長年、指定管理者として運営されている中で、従来通りのやり方ではなく新しい発想を持ってほしいということが、一番求めるべき点だと考えております。</p> <p style="text-align: center;">担当課 質疑応答終了</p> <p style="text-align: center;">採点</p>
委員長	<p>続いて、「コミュニティセンター」について、応募のあった申請団体より、提案内容における利用促進利用者満足度向上並びに運営管理体制の内容を中心にプレゼンテーションをお願いし、その後に質疑応答する形で進めます。</p>
	<p style="text-align: center;">&gt; 申請団体B(富田林市社会福祉協議会)入場&lt;</p> <p style="text-align: center;">プレゼン・質疑応答</p>
委員長	<p>それでは委員の皆様からご質問ございましたらお出しただければと思います。</p>
委員	<p>収支計画について、収入と支出の合計を一致させるための調整が修繕費で行われているように思われます。過去の実績や決算額が出ているにもかかわらず、修繕費が100万円台で予算計上されているのでこれで大丈夫か、また、この予算の組み方に関しても担当課と協議の上で検討した方がいいのではというのがまず1点目です。次に2点目ですが、説明の冒頭で、近くにあった近隣のコンビニが閉店したことにより、利用者からも「食」についての要望が多く出ているとのことですが、それ以上に心配なのは、事前に情報があつたかもしれませんが、路線バスが廃止になることに関してです。行政も関わった上でフォローはしていくと思慮しますが、施設がある場所は駅から遠いので、施設の役割や置かれた立場上、ますます重要性が大きくなると思います。この点について、「食」ということでとても楽しみな切り口で提案されていますが、その辺りをフォローする考えがあれば教えていただきたいというのが2点目です。</p>
B	<p>➡1点目について、確かに過去の部分では200万300万と多額の修繕費がかかっていたという点ですが、この修繕費については、館内のLED化を進める上で必要な分として行われた分も含まれており、この修繕費が継続して必要かという点、もう少し支出をコンパクトに抑えられると考えております。また、エレベーター等すでに修繕が必要とわかっている箇所については盛り込んで計画を立てております。修繕費の見込みはどうしても予測が難しい部分ではございますが、調整弁のようになっている点については、修繕費を確保しなければならないという点も考量して、また担当課と協議して参りたいと考えております。2点目ですが、今回の応募の際には、バス廃止の件は存じ上げておりませんでした。ただ、これまでのご意見の中で利用者様からは、少し離れた山手にその拠点がございますので、コミュニティバスを走らせて欲しいという要望は多々受け賜っておりました。それについては担当課にもご要望として挙げさせていただいている状況です。</p>
委員	<p>利用者数の目標値の設定について、市の要求事項で設定した数字より若干高い設定となっておりますが、毎年同じ数字ということは、達成度を見るために同じ数字にしているということでしょうか。また、イベントの回数が令和6年度だけ14回で、令和7年度以降15回ということで1回増えていますが、この点をもう少し詳しく教えてください。</p>

B	<p>⇒目標の設定ですが、おっしゃる通り達成度のことでそうさせていただいております。イベント回数は、令和6年度については子供の居場所づくりができればよいと考えており、調整期間とさせていただいております。その分令和7年度から実質的に回収したいと考えております。</p>
委員	<p>コミュニティセンターは世代間交流施設ですが、現状で子どもたちと、いわゆる現役世代と高齢者という三つに区分すれば、それぞれどれぐらいの比率になるのか、肌感覚でいいので教えていただけますか。</p>
B	<p>⇒本当に肌感覚になりますが、コミュニティセンターですので誰もが来られる場所となっております。子どもに関しては子ども喫茶等のイベントをさせていただいております。また施設内に第2圏域地域包括支援センターがあり、高齢者も多く利用されています。そして現役世代の方も、少ない印象はありますが定期的に入浴に来られており、乳幼児用の部屋もありますので、子連れの来場者もいます。全体的には乳幼児から高齢者まで、幅広く来ていただける施設になっていると感じております。</p>
委員	<p>今回の次期指定管理にあたってのご提案の中で目玉になる取組みはございますか。</p>
B	<p>⇒今回、「食」ということをテーマにしており、みんながそれを中心にして集まるような、居場所づくりというものに取り組みたいと考えております。やはりこの現代社会というのが「無縁化社会」と呼ばれており、人と人の繋がりが少ないという中で、この地域食堂のようなところを一つのきっかけにして、広く浅くいろんな人が集まる、この場所だけでの繋がりであるが、そこから広がっていき様々な世代が入り込んで互いに交流できるスペースを作っていきたいと考えております。</p>
委員	<p>賃借料が前期と比較しての約2.5倍に上がっている理由を教えてください。</p>
B	<p>⇒利用者の皆さんに使っていただくためにマッサージ機と電位治療器を置かせていただいております。今まで購入したものを置いていたため保守料のみを計上していましたが、機器が老朽化して故障が増えたため、次期からリースで借りる形になるため増えております。</p>
委員	<p>カラオケ機器について変更はありませんか。</p>
B	<p>⇒変更はありません。厨房機器として冷蔵庫のリース代等も含まれておりますが、大きな変更点としては電位治療器とマッサージ機になります。</p>
委員長	<p>今回、食べるという「食」を先頭に出しており、食に限らないものも色々展開していただいております。目玉の一つとすることはいいのですが、これを施設全体のキャッチフレーズやキーワードにすると、範囲を狭め過ぎていないかという印象は受けませんがいかがですか。</p>
B	<p>⇒施設のコンセプトとして「みんなの居場所」というところで、子供から高齢者まで様々な人が関わって作る食堂を目指しております。その中でもコミュニティセンターの強みとしまして、利用者を大切にすること、そして、地域の人を大切にすることを職員が徹底して行ってきたことにより、職員が地域の方とコミュニケーションをとることができる関係性があります。それには接遇研修等も受けながら挨拶や表情、身だしなみを大切に、利用者信頼関係を築きながら関わってきたおかげで、コミュニティセンターの利用者がボランティアに来ていただく、そして、ボランティアが子供たちにお手伝いをする形で循環して、「食」だけではなく、そんな現役世代の方や子供たちが、例えばボランティアの大学生の姿を見て、こんな大学生</p>

委員長	<p>になりたいというロールモデルなども含めて作り上げたいと考えております。</p> <p>⇒例えば、一つの漢字を使ってしまうとそのイメージが強く表に出ます。一つは食べるの「食」ですね。触れ合いを大切にするという「触」もあるし、それから織り成すの「織」、植えるの「植」、殖産興業の増やすという意味の「殖」。このように漢字を置き換えながら、みんなの居場所を作っていく形にすると様々な意味が入りますので、一つの漢字だけでアピールするのは、守備範囲の面で少し弱みがあるので、もし次のキャッチフレーズにするのであれば、この「シヨク」を様々な字を置き換えながら多様な展開をするというコンセプトメイキングもあります。そこも参考にしながら次期も指定管理を行うことになれば、5年間の運営コンセプトみたいなものをもう一度作り変えていただければ嬉しいなと思います。</p>
委員長	<p>研修費の予算が5000円になっていますが、もっと研修をしていただいた方がいいのではと思いますがいかがですか。</p>
B	<p>⇒今までの実績で、無料のものが多かったというものもありますが、ご指摘の通り5000円では限界もあると感じるので、研修の方には力を入れてやっていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>それではこれで質疑応答の方も終了をさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>&gt; 申請団体B(富田林市社会福祉協議会) 退場&lt;</p> <p><u>担当課質疑応答</u></p>	
委員	<p>参考として教えていただきたいのですが、福祉会館もコミュニティセンターも両方浴場がありますが、こういう施設に浴場は必要という考え方なのか。それとも、時代背景から不要になるのか担当課の考えはどうですか。</p>
担当課	<p>⇒銭湯がコミュニティ浴場と言われるようになったのが、最近の話になります。当時は大伴地区にも若松地区にも金剛地区にも銭湯がありましたが、公でやる必要があるかの議論もあったと考えられますが、周囲に民間の銭湯がなくなってきたため、コミュニティ浴場という新しい役割が生まれてきたという認識です。現在、市民会館、コミュニティセンター、総合福祉会館の3ヶ所に浴場がありますが、一般的な地方公共団体が公で浴場施設が3つあるところはほとんどないのではという印象があります。浴場が新たな役割を得て、コミュニティが希薄になる中でニーズがあることは感じますが、ただ、これを公共施設として増やしていく必要があるかについては、少し疑問がございます、</p>
委員	<p>担当課ではなく事務局への意見となるのですが、今回、提案書にページ番号が附番されておらず、内容を整理するときに見にくい面があったので、次回の募集から要項にページ番号を記載するよう明記はできないですか。</p>
事務局	<p>⇒現在の募集要項に明記はしておりませんので、今後、提案資料を見やすいようにならかの対策をさせていただきたいと思っています。</p>
委員長	<p>本来、記載されていなくても利用者目線で見やすさを考えれば、ページ番号をいれる気配りはあって然るべきだと思います。複数事業者からの提案があった場合、ページ番号の有無で事業者の配慮がわかるので、あえて全事業者に指示するのか、差別化の一つとして残しておくのか、悩ましいところですのでご一考ください。</p>

<p>委員長 担当課</p>	<p>交通の利便性の話が出てきましたが担当課として今のところ何か検討されていますか。      ➡以前より、レインボーバスが廃線になったことでの不便さについて、施設から意見を受けておりました。今回、金剛バスの問題が重なり担当課としても、庁内でバスの影響について調査があった中で、コミュニティセンターの利用者の方に大きな影響が出る可能性があるということは伝えていきます。同時に週1回は福祉会館からの送迎バスが運行していますので、辛うじてそれをご利用いただいているところですが、今後のバスの動向は施設ご利用の方にも影響しますので、担当課としても注視する必要があると考えております。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">質疑・応答終了</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">採点・休憩</span> </p>
<p>委員長</p>	<p>続いて、「コミュニティセンター」について、応募のあった申請団体より、提案内容における利用促進利用者満足度向上並びに運営管理体制の内容を中心にプレゼンテーションをお願いし、その後に質疑応答する形で進めます。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">&gt; 申請団体C(ケアセンター共同運営事業)入場&lt;</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プレゼン⇒質疑・応答</span> </p>
<p>委員長</p>	<p>それでは委員の皆様からご質問ありましたらよろしく申し上げます。</p>
<p>委員  C</p>	<p>介護老人保健施設における利用者数の目標設定について、入所事業利用者数が令和6年度は募集要項と同じ数字を設定しており、令和7年以降は上昇する形となっておりますが、この目標設定の考え方やベースになる数値等があれば教えてください。</p> <p>➡まず、介護老人保健施設については、令和3、4年度の入所率で言うと平均して85%から90%ぐらいを推移しております。定員が73床ということで、初年度については年間で2万3750人ということで、65人程度の入所者数の見込みをしております。市の目標数値はかなりハードルが高いと認識しており、これまで、指定管理者として運営している中で、市の施設であるということと、富田林市福祉公社が運営しているという中で、一定の入所の希望はございますが、それにすべて対応できていない点もあります。平成8年に設立後30年弱になっており、施設の運営形態、それから利用者のニーズがかなり変わってきていることを痛感しております。また、入所希望では1人部屋、2人部屋は、プライバシーを重視する入所者の希望がございます。ただ、条例で規定されている1人部屋、2人部屋の料金が、近隣の施設と比較しますと大体3割か5割ぐらいの高額な設定となっており、その部分がクリアできれば入所率は上積みができると考えております。また医療ニーズの部分では喀痰吸引や経管栄養等の医療ニーズのあるものを取り入れることで、強化型老人保健施設に移行していく土台をつくることを検討しております。</p> <p>委員  C</p> <p>市の施政方針とも連動、協力した新たな事業展開を検討、提案して参りますという部分と、市の施策に貢献していくという説明がありましたが、もう少し具体的に教えてください。</p> <p>➡まず、市の施策での連動について、指定管理者としてこの期間中、市の指定方針や議会における市長の所信表明等を拝見し、健康寿命の延伸や、福祉の誰1人取り残さないという点について指定管理者の中でも検討しております。加えて、公共施設の管理に係る経</p>



	<p>費の部分についても、一定の対応ができないか検討しております。1点目は、ケアセンターを市の施策で有効に活用できるかどうかです。これは、以前にも新型コロナウイルスのワクチン接種の会場として富田林市や近隣町村の介護・障害の従事者に対するワクチン接種会場としての貸出や、富田林市の街かどミュージアムの作品を展示、そしてマイナポイントの申請受付場所として、施設の貸し出し等をさせていただきました。今後の展開としましては、市の実施する農業塾の塾生が作った野菜等を、ケアセンターのロビーで利用者の皆様、それから近隣の方に周知し、購入していただくなどを検討しています。またプールについては、ガスコージェネレーションを利用した温水プールのため、基本的に時期を問わず1年間利用できることや、ミズノスポーツサービスはスイミング事業もされている点から、学校施設の代用として十分使えるのではないかと考えております。我々の強みは通年利用ができる部分と、学校のプール事業を担えるのではないかと考えており、その利用にあたっては現在、月曜日が休館になっておりますので、例えば月曜日の休館を利用した試験的な運用をしてはどうかと考えております。2年ほど前から学校プールの代用として実施できるかという部分についてミズノスポーツサービスと検討し、可能であるという結論までできております。</p>
委員	<p>ケアセンターが開館して間もなく、福祉避難所に指定しておりますが、大規模災害を想定し、大阪880万人訓練に参加するなど、意識向上を図っているということでしたが、他に福祉避難所に指定されていることで実施しているものがあれば教えてください。</p>
C	<p>➡福祉避難場に指定され、介護老人保健施設、また、自主事業として介護保険のその他の事業も展開をしております。介護老人保健施設では、令和5年度中にBCPの計画を立てないといけませんので、それについては既に職員への研修、さらに計画作成についても大詰めに来ております。次期指定管理期間にはBCP計画が完成するという予定をしております。</p>
委員	<p>人件費に関連してですが、なかなか介護の分野は人手不足であると聞きますが、そのような中で人材の確保の面ではどのように考えていますか。</p>
C	<p>➡全国的に介護人材の不足が取りざたされており、人材の採用にあたっては、これまで以上の人件費の上昇が始まっており、通常の採用活動では不足しており、紹介業者を通じた採用を行っております。その紹介料として、想定年収の約25%から30%を支払うのが現状であり、これについては人件費高騰の影響がかなりあると考えております。ただ、現在の本介護老人保健施設の取り巻く現状でいいますと、やはり待遇面や福利厚生の方は他の施設よりも働きやすい、また働いてからの職場環境が非常によく、他の施設よりも上回っているという現状にあります。今後の介護人材の不足への対応としましてはまさしく、生産性の向上策としてDX化が必要になると考えます。現在、DX化はまだまだ進んでおりません。最近ではソフト面等で入れ替えをしているところです。今後は介護の生産性を向上するという面でいうと、カメラなどの機器の活用や、事前予知による介護を進めていくという施設整備と、それからソフト整備が必要だと感じております。</p>
委員長	<p>介護に限らず、柔軟な働き方を望む方が増えていると思いますが、DX化の取り組みとして、シフト等を組むときにソフトウェアの活用などはしているのでしょうか。</p>
C	<p>➡今年度、介護施設でシフト作成のソフトウェアが近々納入される予定です。</p>
委員長	<p>コンプライアンスについて、タイトルのコンプライアンス＝法令遵守から世間のルールに従</p>



	<p>で、LINE 等で周知しますと、老人保健施設で実施している高齢からだ塾などに興味を持っていただいて利用者が来場するところがございます。</p>
委員長	<p>民間のスポーツジムであれば仕事帰り、夜間の利用が多いので、呼びかけ方次第ではないかと思います。そういった面でのアピールの手法も含めて検討していただきたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは質疑応答の方もこれで終了をさせていただきます。ありがとうございました。</p>
	<p style="text-align: center;">&gt; 申請団体C(ケアセンター管理運営共同事業体) 退場&lt;  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">担当課質疑応答</span></p>
委員長	<p>それでは担当課の方にご質問等ございましたらよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>プールの利用方法として、学校の授業に活用できないかという提案があり、試行した結果「いつでもできる。」という回答がありましたが、これは直接担当課と話をしているのか、教育委員会とやりとりをされているようなイメージでしょうか。提案していただいて、利用する場合の新たな市の負担はどれぐらいになるのか、今の時点で何かイメージできるものはありますか。</p>
担当課	<p>➡本市として、小学生が通年でプールが利用できればという思いがあり、それを受けて事業者が提案してきたものと思います。現時点で特に決まっているわけではなく、具体的に数字等はありません。</p>
委員長	<p>昨年度、ケアセンターの民間移管について外部有識者による委員会を開催し、検討させていただきましたが、なかなかうまくいかないという結論になり、指定管理者制度に戻した経緯がございます。あくまで推測ですが、今回の提案や質疑応答をお聞きすると、事業者側がかなり強気に出ている印象を受けましたがいかがでしょうか。</p>
担当課	<p>➡ケアセンターのあり方検討委員会には福祉公社もずっと傍聴に入っておりました。公表しているあり方検討委員会の意見書の内容も十分に理解した上で、老健施設機能については独立採算で行うことを前提に、あり方検討の中で、現時点では一体的管理が必要であるとの結論でした。次期指定管理期間は、一体的管理の上で指定管理を行うという方向でしたので、あり方検討と並行して行ったサウンディング調査で他の事業者の手が挙がらなかったことは、福祉公社の運営の自信に繋がっているという印象です。加えて、指定管理料を精査しつつ経営的な分析もされておりますので、自信持ってこれをやり遂げていただければ、次の段階がまた見えてくると考えております。</p>
委員長	<p>それでは以上で担当課の質疑応答を終了いたします。</p>
	<p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">増進型地域福祉課 退場</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">採点・休憩</span></p>
事務局	<p><b>3. 採点結果等</b>  採点結果を報告いたします。総合福祉課福祉会館について、富田林市社会福祉協議</p>

<p>委員長</p>	<p>会合計得点649点、平均点が64.9点で基準点の6割を超えております。なお、各審査項目においても基準点を満たしております。</p> <p>続きましてコミュニティセンターについて、富田林社会福祉協議会、合計得点709点、平均点が70.9点で、基準点の6割を超えております。なお各審査項目においても、基準点を満たしております。</p> <p>続きまして、ケアセンターについて、ケアセンター管理運営協議共同事業体、合計得点708点、平均点が70.8点で、基準点の6割を超えております。なお、審査、各審査項目においても基準点を満たしております。採点結果については以上でございます。</p> <p>すべて1社の応募で基準点を超えておりますので指定管理の候補者として選定してよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">異議なし</span></p>
<p>委員長</p>	<p>それでは委員会として了承するということでよろしく申し上げます。今回の選定について付すべき意見がございましたら、お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>コミュニティセンターと総合福祉会館については、どちらも同じ社会福祉協議会となったが、施設ごとに点差が開いている。私は両者とも似たような採点となったが、各委員においては、採点時にどのような点が引っかけたのか、参考までに着眼点を教えてほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>毎年の年次評価もそうですが、やはりコミュニティセンターは常に前へ進もうとしており新しいことを取り入れようとしています。一方で福祉会館は、今までの事業を継続して安定的にやろうというようなところが見えるので、その点の違いかと感じております。</p>
<p>委員</p>	<p>それぞれの施設で、対象者が違うところが評価しにくいところだと思います。コミュニティセンターは、子供も含め全体的にアピールできますが、総合福祉会館は高齢者、障害者、母子父子に特化されているので、対象を広げて事業を行うという点で難しいところがあるため消極的な姿勢になっているのかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>しかしながら、他市ではかなり先進的な取組やユニークな取組を実施する団体もありますので、そこは頑張ってもらいたいという思いはあります。どうしても、従来型のサービス提供になっていないかという気がしています。今回も協働する相手として挙がってくるのは民生児童委員さん等なので、もっと違う形で福祉に関わりたい方、現に関わっている方、さらに最近は発達障害の問題も多くでてきている中で積極的に様々な取組を実施している団体が他市では存在するので、もっとターゲットを広げてもらうと違うように見えてくるという期待はしております。それに関連した質問で、「時代のニーズ、社会の変化に対応した～」とはいうのはどういうことかお聞きしましたが、なかなか答えが返ってこなかったのもう少し考えていただきたいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>同じ社会福祉協議会なので、コミュニティセンターと総合福祉会館の両施設で横のつながりで連携すればいいと思います。</p>

事務局	事務局にて、本日出たご意見等をまとめて付帯意見として案を作成し、委員各位にご提示させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
委員長	担当者の課題、施設の性質もあるがそこは様々なチャレンジかと思います。
委員	以前は施設間でもっと人的交流があったというので、もっとしたらいいのではと思います。
委員長	同感です。また、プレゼン時に原稿を読むのではなく、自身でこう喋るという事をしっかり組み立てていただければ嬉しいなと思います。
委員長	では最後に事務局で連絡事項をよろしくお願いいたします。
事務局	<p><b>4. その他</b></p> <p>◆事務連絡</p> <p>委員の皆様、本日も長時間にわたり誠にありがとうございました。最後に事務局の方から事務連絡お伝えさせていただきます。次回、第5回指定管理者選定委員会については、市営住宅の指定管理者候補の選定になっております。来週10月20日金曜日午後1時半からの開催となりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それではこれもちまして、本日の委員会は終了とさせていただきます。長時間どうもありがとうございました。</p>